

心臓血管外科専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに

プログラムリーダー 静岡県立総合病院 心臓血管外科部長 坂口 元一

心臓血管外科専門医を取得するにはまず外科専門医の取得が必要条件であり、さらに通算修練期間が最低7年必要です。しかも定められた認定修練施設での手術経験しか評価されず、その認定基準もかなりハイレベルです。まさにスペシャリストの育成を目標とする最たる診療科ともいえます。

心臓血管外科は生命リスクに直結する難易度の高い手術が多く高度な手術技能が必要とされます。また、複数の分野のスタッフの協力によるチーム医療が中心となることから協調性と指導力も要求されます。最近は各科において手術の低侵襲化が求められるようになり、心臓血管外科のなかでもイノベーションの嵐が吹き荒れ新たな技術がスタンダードになりつつあります。従来のカリキュラムで学んできた基本的な手技や知識のみでは対処できない現状となっています。

静岡県中部地区の地域医療のなかでスペシャリストとしての心臓血管外科専門医を育成できるかどうかは私たちの今後の努力目標でもあり、また幅広い多彩な臨床経験とチーム医療の実践を提供できる環境は十分あると信じています。静岡で研修を希望するみなさん、少数精鋭主義の心臓血管外科研修で自分の能力を試してみたいはいかがですか。



2 目的

- ・患者の周術期管理と心臓血管手術の基本術式、手術技能を習得させる。
- ・スペシャリストとしての当科の役割、チーム医療の重要性を理解し、心臓血管外科医として信頼される態度、人格を修得させる。
- ・医療安全、感染対策、医療経済に配慮できる医師を育成する。
- ・心臓血管外科専門医取得に向けて手術経験を提供する

3 特徴

静岡県中部は専門医機構の認定修練施設が6施設有り、手術数も豊富な地域であります。

また、最近では心臓血管外科も開心術を主体とした虚血性心疾患手術、弁膜症手術、大血管手術、ステントグラフトを主体とした大血管手術、末梢血管手術、先天性心疾患に対する小児心臓手術など特殊化が進んできており、その手術手技も多様化してきています。そういったなか当地区の施設群はそれぞれの得意分野を有し、中部地区だけであらゆるスタンダードの術式を経験できる環境にあります。

4 研修カリキュラム

各認定施設の心臓血管外科専門医修練カリキュラムに即して指導します。

5 研修例

研修期間は、1施設につき、最低1年間～最高2年間の範囲で、半年単位で（1年、1.5年、2年）4施設の合計が5年となるよう、自由な選択を可能とします。

ただし、同一施設での研修は途切れないよう連続して受けていただき、研修順序は短期間の施設が先行で、後になるほど長期間の施設（同じ期間の施設は希望順）とします。

5-2 提供される研修機会

- ・ 県内施設合同の研究会、症例検討会、ビデオカンファレンス、講演会
- ・ 県内施設合同の wet labo
- ・ 学会、地方会の参加（発表）

5-3 取得可能資格

- ・ 一般外科修練後の外科専門医：研修4年目（卒後6年目）
- ・ 心臓血管外科専門医：研修5年終了後（卒後7年以降）

6 研修病院群

静岡県立総合病院、静岡市立静岡病院、静岡赤十字病院、藤枝市立総合病院